

ヤブツバキ

がくめい
学名 Camellia japonica

か めい
科名 ツバキ

べつ めい
別名 ヤマツバキ、ホウザンツバ
キ、台湾ヤマツバキ



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 ほんしゅう しこく きゅうしゅう たいわん
本州、四国、九州、台湾

は かたち
葉 の 形 だえんけい ちようだえんけい ちようらんけい
楕円形、長楕円形、長卵形

は ふち
葉 の 縁 きよし
鋸歯

は さき
葉 の 先 えいせんけい
鋭尖形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は き ぶ えんけい ぜんせんけい
葉 の 基部 円形、漸尖形

み しゅるい さくか
実 の 種類 蒴果

は な がくいろ あかいろ しろいろ
花・萼色 赤色、白色

山野に生育し、人家の庭にも植えられており、高さ 15m に達する常緑の高木です。葉は革質で硬く光沢があり、濃い緑色をしており、長さ 4-8 cm です。葉の縁にはまばらな鋸歯があります。花は濃い紅色、淡い紅色または白色で、大きさは径 5-7 cm です。この花は多量の蜜液を出し、鳥や昆虫を誘います。実は、ほぼ円形で径 2-2.5 cm です。